

校訓

成徳

一人一人には、その人のすばらしさが必ず具わっている。
それを見つけよう。それを磨こう。それを育てていこう。

学校教育目標

つなぐ つくる 学び合う 行動する 生野っ子

～絆を大切にし 創造力をはたらかせ 学びを楽しむ 児童の育成～



絆を大切にし

創造力をはたらかせ 学びを楽しむ

- 命を大切にし、仲間のよいところや個性を認め合い、失敗を恐れず最後まで粘り強く頑張る強い心の育成
- ふるさとに学び、ふるさとに誇りを持つ、ふるさと意識の醸成
- 自分で課題を見つけ、主体的に考え、判断し、行動する資質や能力を育み、学び合い高め合う児童の育成
- たくましく生きるための心身の健康や体力、生活習慣づくり

めざす児童像

☆つなぐ

人と人との繋がりを大切にし、感謝の心を伝える子
自分の目標を持ち努力する子

☆つくる

課題を見つけ、行動できる子
柔軟な発想や考えを持ち、すすんで表現する子
自分も友達も大切にする子

☆学び合う

学ぶことに意欲を持ち、最後までやり遂げる子
多様な考えを受け止め、困難に立ち向かえる子
読書を楽しむ子

☆行動する

元気な挨拶や返事をする子
行動し 心も体も鍛える子

教師の姿勢

☆自己の研鑽に努める

授業実践力・改善力の向上
をめざし研鑽し合う職場
協働型の熱意あふれる職員集団

☆創造的に支える

専門性を活かし協働と連携で個に寄り添い、いごちのよい学級集団、児童集団づくり
強みを伸ばし、自己有用感を高める指導
知的好奇心を揺さぶり、児童が主体的に学ぶ授業づくり

☆環境

自己の責任を果たし、生産性の高い職場
「報連相」を徹底し学校・家庭・地域と連携した教育活動の推進



到達目標

- 1 命を大切にし、人権意識を高め、互いを知り、認め合い、学び合う児童にする。
- 2 目的意識を持ち主体的に考え、判断・行動し、仲間と共に最後までやり遂げる児童にする。
- 3 多面的・論理的な思考で、課題解決のよりよい方法を探り、確かな学力を身につける。
- 4 ふるさとに誇りを持ち、ふるさとの良さを発信し、主体的に行動する児童にする。
- 5 「早寝・早起き・朝ご飯」で生活習慣を整え、心身ともに健やかな児童にする。
- 6 体力づくりに計画的・継続的に取り組み、運動好きな児童にする。
- 7 読書活動を推進し、想像力や豊かな心を育てる。
- 8 「学校運営協議会」を活用し、学校と地域が連携した学校運営を推進する。

1 命を大切にし、人権意識を高め、互いを知り、認め合い、学び合う児童

- (1) 命を大切にし、自分の命は自分で守ることのできる児童を育成する。
- (2) いごちのよい学級集団づくり。児童が失敗を恐れず、安心して学べる学級づくりから。学級の課題を明確にし、ビジョンを持った学級経営を行う。
- (3) コミュニケーションを大切にする。人権意識を養い、児童が互いの違いを認め合い、学び合い、生き生きと自己表現ができる仲間づくりを行う。
- (4) 道德教育を通して、他者や自己との「対話」により生き方についての考えを深め、規範意識を育成する。
- (5) いじめは「どこでも起こる」と認識し、未然防止・積極的認知と迅速で適切な指導・組織的な対応を行う。

2 目的意識を持ち主体的に考え、判断・行動し、仲間と共に最後までやり遂げる児童

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、目標を明確にし、児童が自ら課題を見つけ、目的意識を持って課題を解決する力を身につけさせるための、授業づくりを行う。また、見通しを持って論理的に考える力を養い、プログラミング的思考の育成を図る。
- (2) 言語活動を充実し、児童が学び合う授業を展開する。
- (3) ICT 環境を効果的に活用し、学習活動だけでなく児童の自主的主体的な取組に運用する。
- (4) 体験的な学習を通して人間性や社会性を培い、達成感や自己有用感を高め、主体的に行動する態度を養う。
- (5) 授業の終わりに「振り返りの時間」を設定し、その時間の学びと、新たな疑問や課題は何であるかを児童に考えさせ、次の学びにつなげる。児童のつまづきを把握し系統的な指導方法の工夫、改善を行う。

3 多面的・論理的な思考で、課題解決のよりよい方法を探り、確かな学力を身につける

- (1) 知識や情報を収集・活用し、言語や技能を使いこなして、多面的・論理的な思考を身につけ、対話から学びを深める児童の育成。そのための語彙力、知識、技能を育てる授業づくり。
- (2) 各教科や学年相互の関連を踏まえた系統的な指導を行う。評価基準を踏まえて、評価方法を明確にし、PDCAサイクルを意識して授業改善を行う。
- (3) 個別最適な学びと協同的な学びの充実をはかり、教師の専門性の向上を図る。

4 ふるさとに誇りを持ち、ふるさとの良さを発信し、主体的に行動する児童

- (1) 「総合的な学習の時間」の探究課題を工夫し、ふるさとの未来の担い手としての意欲を高める学習を計画的に展開する。
- (2) 地域の文化、歴史、自然などのよさを学び、理解を深め、発信するための情報活用能力を育成する。
- (3) 「枡の実太鼓」「石刀節」など、積極的に文化を継承すると共に、その背景となる歴史文化の学習を教育課程に位置づけ、ふるさと学習を推進する。

5 「早寝・早起き・朝ご飯」で生活習慣を整え、心身ともに健やかな児童

- (1) 児童が自らの生活習慣や時間の使い方を見直し、心身の健康について考え行動する力を養う。
- (2) PTAや家庭と連携し「早寝 早起き 朝ご飯」の生活リズムや、基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (3) 食育を推進し、栄養教諭や家庭と連携して、自分の体や健康に関心を持ち、よりよい生活習慣を身につけよう

とする意欲を高める。

6 体力づくりに計画的・継続的に取り組み 運動好きな児童にする

- (1) 体力作り、体幹づくりに向けた取り組みを計画的・継続的に全校で取り組み、日々の体力増進に向けた運動の習慣化を図る。
- (2) 体力測定を活用し、課題を明確にすると共に、運動の習慣化が体力や技能の向上につながることに気づかせ、運動への関心を高めていく。

7 読書活動の推進

- (1) 児童が本に触れる機会をふやし、ＰＴＡや読書ボランティアとも連携して 読書活動を推進する。
- (2) 様々なジャンルの書物に触れ、豊かな感性や想像力を育み、本の世界を楽しむ児童を育成する。

8 「学校運営協議会」を活用し、学校と地域が連携した学校運営を推進する。

- (1) 学期に１回（年間３回）協議会を開催し、地域と共にある学校づくりを推進する。
- (2) 校報などを通して、取り組みを積極的に発信する。
- (3) 地域の教育資源や人材の情報を学校運営協議会で共有し、地域が参画する教育活動の計画、推進を図る。